



LPCグループから島根大学医学部附属病院に

マスク1万枚を寄贈

2020年4月3日(金)



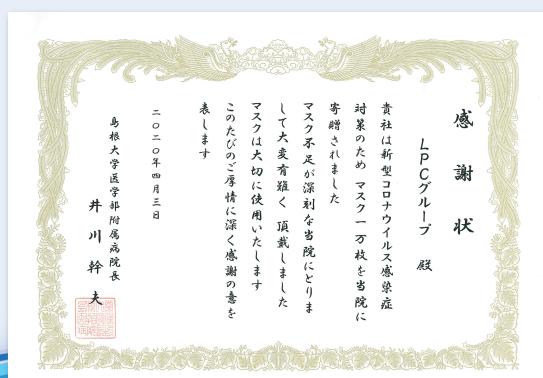
↑島根大学医学部附属病院 井川幹夫院長(左)にマスクを寄贈する LPCグループ 代表 白神文樹(右)

新型コロナウイルスの国内、国外での感染拡大によるマスク不足が深刻であり、医療機関も例外ではありません。医療機関のマスク不足は、医療従事者の感染、診療停止等に繋がりかねません。地域の患者の命を守るために、地域の皆様の診療に携わられる医療従事者の方の感染リスクを抑えるため、地域の皆様の一助になればと今回マスク1万枚を寄贈いたしました。

LPCグループは幅広くサービス業を展開しており、日々多くのお客様と接する業態であることから、2009年の新型インフルエンザ発生以降、対策マニュアルを策定。今回のマスクはマニュアルに基づきマスクをはじめとする各種医療品等の備蓄を行なってきている備蓄品の一部です。今回のマスク寄贈にとどまらず、今後も地域の皆様にお役に立てる活動を継続していきます。



↑寄贈品マスク



新型コロナウイルス感染拡大防止のために 地域の皆様のお役に立てる活動を実施していきます